

TRUCK INFORMATION WAKAYAMA

トラック情報



公益社団法人 和歌山県トラック協会



2024

1

CONTENTS

協会だより

2~11 年頭のご挨拶

12 会員だより

12 (株)有田自動車学校との適性診断に係る再度協定締結のご案内について

13 令和5年度安全性優良事業所近畿運輸局表彰式が行われました

14 理事会が開催されました

17 令和5年度トラック運送事業者のための人材確保労働環境改善セミナーが開催されました

17 改善基準告示セミナーが開催されました

18 広報委員会が開催されました

18 建設委員会が開催されました

18 2024年問題対策特別委員会が開催されました

19 2024年問題対策セミナー並びに運送事業者セミナーが開催されました

20 厚生労働省より

21 初任運転者講習の開催について

22 2023年度各種助成金申請状況

22 和歌山第1第2ブロック親睦ゴルフコンペが開催されました

23 軽油価格調査集計表

24 協会日誌

25 自動車安全運転センターのページ

26~27 近畿交通共済のページ

謹賀新年

新春を迎え、会員皆様方の

ご多幸と事業の益々のご繁栄を

お祈り申し上げます。

令和六年 元旦

公益社団法人和歌山県トラック協会

会長 阪本享三

副会長 小浦正臣

副会長 榎本智信

副会長 横山郁芳

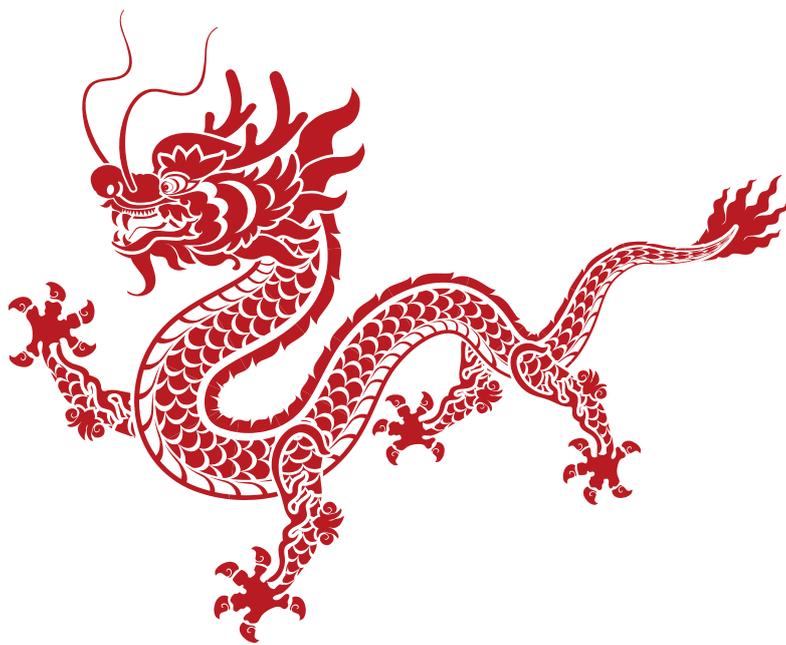
副会長 和田耕司

副会長 藪本恵三

専務理事

和佐純宏

職員 一同



年頭のご挨拶



公益社団法人和歌山県トラック協会
会長 阪本 享三

明けましておめでとうございます。

令和6年(2024年)の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、皆様方には当協会の事業推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、ブラジルの首都で落選した前大統領の選挙をめぐる不正を訴えデモ参加者ら4千人が暴徒化し大統領府等に侵入し400人が拘束される、アメリカ本土上空に飛来した中国の偵察用と思われる気球を撃墜、トルコ南部でマグニチュード7.8と7.5の地震が発生しトルコ南部とシリア北部で5万2千人超が死亡、北朝鮮が大陸間弾道ミサイルを発射、米大統領がウクライナを電撃訪問、トランプ前大統領を不倫の「口止め料」支払いを巡る疑惑で起訴、台湾の総統がアメリカを訪問して米台会談、激しい戦闘が続くアフリカのスーダンから日本人の退避を開始、70年ぶりに英王国の戴冠式の開催、トランプ前米大統領の27年前の性的暴行を認める民事訴訟で賠償を命じる判決、北朝鮮が軍事偵察衛星を積んだロケットを発射したが失敗、ロシア軍の占領下にあるウクライナ南部ヘルソン州のダムが決壊して約1万6千人が避難、米国務長官が5年ぶりに訪中、タイタニック号の沈没跡を見学に行ったアメリカの観光会社オーシャンゲート社が運航する潜水艇タイタン号がカナダのニューファンドランド島沖合南東740キロメートルの北大西洋上で潜水中に圧潰・沈没、ロシアの民間軍事会社ワグネルが反乱を起こしたがベラルーシのルカシェンコ大統領が仲介し大規模衝突は回避、ハワイのマウイ島の山火事が1週間以上続き100人以上が死亡、ロシアの民間軍事会社ワグネル創設者のプリゴジン氏が乗ったビジネスジェットが墜落し死亡、北アフリカのモロッコでマグニチュード6.8の地震があり2,000人以上が死亡、リビアで暴風雨に見舞われ大雨でダムが決壊し洪水で1万1千人超が死亡・2万人以上が行方不明、カンボジアの首都プノンペンのアパートを拠点に特殊詐欺をしていたとみられる日本人20人超が現地捜査当局に拘束される、アフガニスタンでマグニチュード6.3の地震が発生し死者2千人超、北朝鮮が初の軍事偵察衛星の打ち上げに成功、イスラム組織ハマスがイスラエルに大規模攻撃を行いイスラエルのガザ地区への報復攻撃により双方で多数の死者が発生、大リーグの大谷翔平が史上初の2度

目の満票で最優秀選手（MVP）に選出・エンゼルスからドジャースに北米プロスポーツ史上最高額で移籍、自動車の輸出台数で中国が日本を抜いて世界一になるなどがありました。

国内では、旧統一教会の問題に対処するための不当寄付勧誘防止法（被害者救済新法）が施行、フィリピンの入国管理局の収容施設に収容されているルフィと名乗る者が日本各地で相次いだ強盗事件を指示、同性婚をめぐる不適切な発言で総理大臣秘書官が更迭、東京五輪・パラリンピックの運営業務で談合したとして大会組織委員会の大会運営局元次長並びに電通のスポーツ局長補他計4名と電通など6社・7人が独占禁止法違反の疑いで逮捕、楽天モバイルの携帯電話基地局整備事業をめぐる詐欺事件で同社元部長を逮捕、日韓の徴用工問題で韓国の財団が賠償分を肩代わりすることで政治決着、H3 ロケット初号機の発射で2段目エンジンが着火せず指令破壊、初当選後海外に滞在したまま国会を欠席し続けたということでガーシー参議院議員が議員資格を失う「除名」処分、韓国大統領がシャトル外交で来日、岸田首相キーウを電撃訪問、ワールド・ベースボール・クラシックで日本が3大会ぶりに世界一に、国産の量子コンピューターが稼働、鉄道各社の運賃の値上げ、中小企業にも月間60時間超の時間外労働に係る割り増し賃金率50%が適用、道路交通法の一部が改正され自転車利用者に対してヘルメット着用の努力義務、トヨタ自動車の豊田社長が会長に就任し佐藤執行役員が新社長に、陸上自衛隊の第8師団長を乗せた陸上自衛隊のヘリコプターが宮古島沖で墜落し乗員が死亡、日銀の新総裁に戦後初の学者出身の植田和男氏が就任、統一地方選挙が行われ大阪府知事・大阪市市長・奈良県知事に維新の会候補が当選、大阪のIR計画政府が認定、フリーランスで働く人を保護する特定受諾事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス新法）が成立、石川県で震度6強の地震が発生、新型コロナウイルスの感染症法上の分類を5類に変更し名称を「コロナウイルス感染症2019」と変更、マイナンバーカードを使った証明書のコンビニ交付サービスで誤交付が発生、保釈中の被告の逃亡を防ぐためGPS端末を装着できるようにする制度の新設を盛り込んだ改正刑事訴訟法が成立、G7 広島サミット開催、歌舞伎役者の市川猿之助さんと両親が自宅で倒れているのが見つかり両親が死亡する事件が発生し両親に睡眠導入剤を服用させ自殺を手助けした罪で市川猿之助さんを逮捕、マイナンバーカードを健康保険証としても使う「マイナ保険証」で別人の情報が誤って登録されるトラブルが相次ぐ、東京メトロの代表取締役会長が国交省と利害関係のある企業に省OBを社長にするよう求めていた問題で退任、長野県中野市の市議会議長宅で議長の息子が猟銃のようなものを発砲するなどしたうえ立てこもる事件が発生し警察官2名を含む男女4人が死亡、NHKが未認可の衛星放送番組のインターネット配信の関連支出9億円を予算に盛り込んでいた、岸田首相の長男で政務担当の秘書官が首相官邸で親族と忘年会をしていた問題で更迭、日野自動車と三菱ふそうトラック・バスが経営統合することで基本合意したと発表、同性同士の結婚を認めないのは憲法に違反するという2例目の判決が出る、2065年までとしていた高速道路の料金徴収期限を50年延長して2115年まで

とする改正道路整備特別措置法が成立、2024 年秋に現行の健康保険証の原則廃止などを盛り込んだマイナンバー法など関連法改正案が成立、原発の運転期間の延長を含む「GX 脱炭素電源法」が成立、大手電力 7 社が家庭向け規制料金を 14 ~ 42% 値上げ、台風 2 号の影響で線状降水帯の発生で各地で大雨が降り被害が出る、ドバイに逃亡していた元参議院議員のガーシー（東谷義和）容疑者が帰国し暴力行為等処罰法違反で逮捕、岐阜市の陸上自衛隊の射撃場で自衛官候補生が自動小銃を発射し自衛隊員 3 人が死傷、九州北部で梅雨前線の活動に線状降水帯の発生が重なり記録的な大雨となり土砂災害や河川の氾濫が発生、一連の不適切な保険金請求事案によりビッグモーターの兼重社長・副社長が辞任、洋上風力発電をめぐり業者から多額の資金提供を受けた疑いで東京地検特捜部から家宅捜査を受けた秋本真利外務政務官が政務官を辞任し後日逮捕される、国内初のアルツハイマー新薬の承認、東京電力福島第 1 原発の処理水の海洋放出が開始し中国が処理水の海洋放出を理由に日本からの水産物の輸入を停止、沖縄県のアメリカ軍普天間基地の移設先となっている名護市辺野古での軟弱地盤の改良工事をめぐり工事を承認しない県に対して国が行った「是正の指示」が違法かどうか争われた裁判で沖縄県の敗訴確定、セブン & アイ・ホールディングスによるそごう・西武の米投資ファンドへの売却で西武池袋本店で大手百貨店の 61 年ぶりのストライキを決行、ジャニーズ事務所の故ジャニー喜多川氏による性加害問題が公になる、中古車販売のネクステージが自動車保険契約の捏造などの不適切な事案が社内で発生していたことで浜脇浩次社長が辞任、プロ野球の阪神タイガースが 18 年ぶりのセ・リーグ優勝・38 年ぶり 2 度目の日本一に、インボイス制度の開始、全国銀行資金決済ネットワークの全国銀行データ通信システムで不具合が発生し 11 の金融機関で送金が出来ず、将棋の藤井聡太名人・竜王が史上初の八冠独占を達成、文部科学省が旧統一教会への解散命令を東京地検に請求、ビッグモーターによる保険金の水増し請求問題で国土交通省が道路運送車両法違反で 12 店舗の民間車検場の指定を取り消し、女性をめぐることが発覚した山田太郎前文部科学兼復興政務官・公職選挙法で禁じられた有料ネット広告の利用を東京都江東区長に勧めた柿沢未途前法務副大臣・過去の税金滞納と差し押さえなどが問題となった神田憲次財務副大臣など内閣改造後 3 人の辞任、違法薬物事件により日本大学アメリカンフットボール部の廃部問題、米空軍横田基地所属のオスプレイが屋久島沖で墜落、自民党派閥の政治資金パーティーの裏金問題の発覚、旧統一教会の被害者救済に向けた特例法案の成立、ダイハツ工業で車両の安全性を確認する衝突試験で不正があった問題で全車種り新車販売を停止、殺傷兵器の輸出解禁などがありました。

運輸業界におきましては、トラックドライバーの 2024 年問題に対処するための政府の政策パッケージ並びに物流革新緊急パッケージの発表、トラック G メンの発足、国土交通省の総合政策局から自動車局へ事務移管し名称を物流・自動車局に変更、テールゲートリフターの特別教育の義務化の発表などがありました。

和歌山県に於きましては、関西初のファッションイベント「東京ガールズコレクション」が和歌山ビッグホエールで開催、和歌山市で衆院補選の応援演説で訪れていた岸田首相に爆発物が投げられる、衆議院和歌山1区の補欠選挙が行われ維新公認新人の林佑美さんが初当選、台風2号の影響で大雨被害にあった海南市に災害救助法適用、串本町と那智勝浦町を結ぶ県道長井古座線「八郎山トンネル」で施工不良が見つかるなどがありました。

トラック協会におきましては、新型コロナウイルスの影響で控えていた集客型のトラックの日のイベントが4年ぶりにビッグホエールで開催され、約3千9百名の来場がありました、2024年4月からの労働時間の規制強化に対応するため「2024年問題対策特別委員会」を立ち上げ、協会員の周知徹底を図るためのセミナーの開催や荷主企業の理解を得るための対策に取り組みました。

本年は、いよいよ2024年問題と言われている4月からのトラックドライバーの労働時間規制強化が始まります。

荷主企業から標準的な運賃を収受し、労働時間の減少によるドライバーの賃金減少分を確保するだけでなく、他産業との賃金格差を無くしてトラック運送業界に若者が就職してもらい、減った労働時間を穴埋めしないと物流の停滞が発生することとなりますので、昨年度新設されたトラックGメンの協力を得て、優越的地位の乱用する荷主の取り締まり強化等に更なる力を注いで参ります。

もとより微力な私ではありますが、これからも公益社団法人として、公益性のある事業により一層取り組み「産業と国民の生活を守る」トラック運送業界であるよう、また極めて厳しい折柄ではありますが会員皆様の事業所が繁栄するよう最善の努力を致しますので、会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご多幸と事業のご繁栄を祈念して新年のご挨拶と致します。



近畿運輸局和歌山運輸支局長
小森 成人

1.はじめに

新年、あけましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機に、インバウンドをはじめとする人流も回復傾向にあり、和歌山への観光客も順調に回復してきております。

一方で、「2024年問題」をはじめとする物流や公共交通での運転者不足が、マスコミ等でも大きく取りあげられたところです。

こうしたなか、事業者の皆様におかれましては、燃料価格をはじめとする物価高騰や、深刻な人材不足など、厳しい社会・経済環境が続くなか、安心・安全なサービス提供ため、日々最前線でご尽力を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、本年は熊野古道世界遺産登録20周年を迎え、そして来年2025年には大阪・関西万博が開催されるなど、関西・和歌山ではビックイベントが続いてまいります。

このような状況の中、和歌山にとって飛躍の1年になるよう、職員一丸となって頑張っておりまので、皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

和歌山運輸支局としましては、近畿運輸局と連携し、関係機関や事業者団体と協力しつつ、様々な課題への取り組みを進めるとともに、新制度や安全・安心に向けた法令順守などの各種啓発・啓蒙活動に注力してまいります。

また、引き続き申請窓口での良好なサービス提供に向け、努力してまいります。

2.取組み方針

(1) 地域公共交通の維持

本格的な人口減少による長期的な利用者の減少や運転者不足の深刻化などにより、地域の日常生活や産業を支えるための移動手段の確保は重要かつ緊急の課題となっています。

このような背景から「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域交通法）」が昨年10月に改正施行され、新たに「地域の関係者の連携と協働の促進」が規定されたほか、ローカル鉄道やバス・タクシーなどの地域交通の再構築に関する仕組みの創設・拡充が行われました。

当支局としましても、交通事業者や自治体、地域関係者の皆様の声をお聞きすることを第一に考え、さまざまな支援制度を活用しつつ、地域公共交通の確保維持に取り組んで参ります。

近畿運輸局管内においても、乗合バス事業は、従前からの厳しい経営状況と相まって、運転者不足の深刻化により、減便や路線の合理化、中には廃業をせざるを得ない状況となっています。

当支局としましては、管内の各自治体に対し、法令面をはじめとする助言などを行うとともに、運行事業者があらゆる補助制度の活用や運賃改定の検討ができるよう、今後とも自治体と連携してまいります。

また、タクシー事業については、昨年7月に実施した県下全地区（4交通圏）の運賃改定の効果もあり、営業収入は、コロナ前の約15%減少にまで回復しているものの、運転者数については、コロ

ナ前に比べ約2割減少する中、地域住民の日常生活や外出を支援する公共交通機関として重要な役割を担っており、タクシーによる地域交通の確保にも取り組んでまいります。

併せて、近畿運輸局が昨年8月に改訂定した「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」では、地域を「つなげる」3つの視点「テーマとストーリー」・「人材」・「情報」に加え、関西周遊の促進に向けた施策を一層推進するため、「交通」の視点が追加されました。

当支局としましても、観光に欠かせない移動「手段」として、地域間・地域内の移動利便性の向上、ラストワンマイルの課題解消に取り組むなど、関係機関と緊密に連携・協働しつつ、観光政策・交通政策を一体的に推進するとともに、大阪・関西万博の開催に向けた機運を醸成するため、引き続き「大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート」について、普及に取り組んでまいります。

(2) 物流対策等

国民生活や産業競争力を支える重要な社会インフラの物流業界は、労働力不足や、燃料価格高騰に加え、トラックドライバーの時間外労働の上限規制等が適用されることに伴い、物流の停滞が懸念されるいわゆる「2024年問題」が懸念されており、政府一体となってこの問題に総合的に対応するべく、関係閣僚会議において、昨年6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」、10月に「物流革新緊急パッケージ」が決定され、荷主・物流事業者・消費者が一体となり、商慣行の見直し、物流の効率化及び荷主・消費者の行動変容に向けて取り組むこととされました。

この中で、国土交通省では、適正な取引を阻害する疑いのある荷主企業等への監視体制強化のため、昨年7月に「トラックGメン」を設置し、当支局にも配置されたところです。

当支局としましても、荷主側の事情による長時間の荷待ちや附帯作業の強制等、法令違反の原因となる行為の疑いについて、荷主企業等への「働きかけ」や「要請」等を行うことにより、荷主企業や物流関連事業者間等に存在する商慣行の見直しに取り組むとともに、「標準的な運賃」の実効性を確保し、適正運賃収受を実現することで、トラックドライバー不足の課題にも対応し、重要な社会インフラである物流が滞ることのないよう努めてまいります。

また、フェリー・RORO船による年間輸送量・輸送分担率を今後10年で倍増させるとの項目が盛り込まれたことから、モーダルシフトの受け皿として物流の生産性向上に向けた重要な役割を益々担っていくこととなり、和歌山下津港では、令和4年10月に愛媛県と千葉県を定期航路で結ぶRORO船が和歌山県下に初寄港してから1年が経過し、さらなるモーダルシフトに向けた取組みが促進していくことが期待されます。

併せて、和歌山県と徳島県を結ぶ和歌山県内唯一のフェリー航路は、コロナ禍により旅客・車両輸送面において著しい影響を受けてきましたが、輸送実績も回復傾向にあり、和歌山県の物流・観光の振興に大きく寄与する必要不可欠な航路であるため、引き続き、航路の維持・活性化に取り組んでまいります。

(3) 自動車検査・登録

自動運転技術は、交通事故の削減、地方部を中心とした移動の確保、ドライバー不足の解消などの課題の解決手段として期待されています。

これら先進安全技術を搭載する自動車の誤作動を未然に防ぐために、令和2年4月から「特定整備制度」が施行され、本年10月からは、「車載式故障診断装置（OBD）」を活用した自動車検査が開始されます。引き続きスキャンツールを活用した自動車の点検整備・検査の新制度の普及に努め、新技術に対応した取組みを進めてまいります。

また、自動車検査登録については、電子化された新様式の検査証が交付から1年を経過し、「記録事務代行制度」についても、和歌山県下の承認者が指定整備事業者を中心に増加しております。自動

車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）とともに、検査登録の手続きのユーザーサービス向上のため、広く普及するよう、引き続き取組みを進めて参ります。

なお、本年4月より、新検査証の詳細内容を確認するための申請者専用端末が窓口を設置される予定です。和歌山運輸支局ではOSSの普及を推進しつつ、窓口来庁者の利便向上についても進めて参ります。

（4）人材確保対策等

自動車運送事業においては、バス・タクシー・トラック事業の各モードにおいて状況は異なるものの、いずれも運転者不足が喫緊の課題となっており、バス・タクシーについては、必要なコストを反映した運賃改定を適切に行い、またトラックについても、同様に適正な運賃収受を行い、共にそれを原資とする賃金アップ等の待遇改善を図っていく必要があります。

国土交通省では、自動車運送事業の運転者不足に対応するための総合的な取組みの一環として、職場環境改善に向けた自動車運送事業者の取組みを「見える化」することで、求職者の就職を促進し、各事業者の人材確保の取組みを後押しすることを目的として、「働きやすい職場認証制度」の取組みを推進しており、当支局としてもこうした人材確保の取組みのPRを進めてまいります。

自動車整備業についても、少子化や若者の職業志向の変化により、若手人材の確保が課題であり、既に業種を超えた「若手の獲得競争」の渦中にあります。

当支局では、高校生に自動車整備士を将来の選択肢としてアピールするため、学校を訪問し、その魅力や役割の重要性を伝える取組みを実施しており、今年も引き続き実施してまいります。

また、令和5年度には自動車整備士の仕事に関心をもってもらうため、高校生等を対象に県下の整備工場で3日間の体験プログラムに参加していただく「カーメカニックワークチャレンジ2023」を実施しており、今後も、あらゆる機会を捉えて周知するとともに、自動車整備人材の確保・育成対策に取り組んでまいります。

海事関係では、コロナ禍において開催を中止していた次世代人材育成事業について、海事関係団体等との共催による和歌山市内の小学生と保護者を対象にしたフェリーでの「海の教室」の開催を再開し、次世代を担う小学生が海や船に関する仕事についての理解を深め、将来の職業の選択肢の一つとなるよう、取組を進めてまいります。

（5）環境対策

我が国では、脱炭素社会の実現に向けて、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目標としております。公共交通・物流分野を含む運輸部門のCO2排出量は、日本全体の約2割（2021年:17.4%）を占めていることから、交通・物流分野のGXは喫緊の課題です。

このため、さらなる公共交通の利用促進や、荷主企業と物流事業者の連携を通じたモーダルシフトの推進、大阪・関西万博の開催を契機とした、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた電気バス等の導入の推進に、国の支援制度を通じて関係者と連携しつつ、積極的に取り組んでまいります。

また、国土交通省では運輸部門における地球温暖化対策の一環として、環境にやさしい「グリーン経営（環境負荷の少ない事業運営）」を推奨しており、グリーン経営認証制度の普及促進を図っており、昨年12月に海事モードを対象とした「グリーン経営認証取得講習会」を和歌山県内で初めて開催し、環境負荷の低減につなげていく制度を周知いたしました。

当支局としましても、引き続き、さらなる同制度の周知をはじめとした様々な脱炭素に向けた活動に取り組んでまいります。

（6）安全・安心の確保

運輸事業の安全・安心の確保のためには、経営トップから現場まで事業者自らが社内一丸となった安全管理体制を構築し、積極的に取り組むことが重要不可欠です。

このため安全文化の構築・定着に向けて、引き続き運輸安全マネジメント制度を推進するとともに

に、防災・危機管理対応については、近年全国的に豪雨や大型の台風、雪害等自然災害による甚大な被害がもたらされていることから、これらの災害に対して迅速かつ適切に対応することが最大の課題であり、BCPに準じた対応はもちろんのこと、臨機応変かつ柔軟な対応を進めてまいります。

また、国民生活や社会経済活動の維持に大きな役割を担う運輸事業者は、発災時に被害軽減と拡大防止を図るとともに、事業活動の維持や早期回復を図ることが期待されており、自然災害への対応力の向上が求められています。運輸事業者が防災体制の構築と実践を進める際に参考とすべき考え方をまとめた「運輸防災マネジメント指針」の周知を図り、運輸安全マネジメント評価等を通じ、事業者の取り組みの向上を支援してまいります。

自動車運送事業の輸送の安全については、「事業用自動車総合安全プラン2025」に沿って、関係機関や業界団体との連携を密にした取り組みを進めるとともに、監査において法令遵守の確認を行い、需要が回復傾向にある貸切バスにおいては街頭監査を含めた監査等を実施し、輸送の安全確保を確認するとともに悪質な法令違反が確認された事業者に対しては厳正に対処してまいります。

また、同プランで策定された重点施策に基づき、運転者の高齢化に伴う脳血管・心臓疾患等の健康に起因する事故を防ぐため、「健康管理マニュアル」や「脳血管・心臓疾患対策ガイドライン」、「視野障害対策マニュアル」等の更なる周知と適切な健康管理の徹底を図るとともに、飲酒運転やあおり運転等悪質運転を根絶させ、事故のない安全・安心な交通社会の実現に向け、関係者の皆様と一丸となって取り組みます。

海事分野については、令和4年4月に北海道知床沖において発生した小型遊覧船事故を受けた有識者による「知床遊覧船事故対策検討委員会」により、令和4年12月に「旅客船の総合的な安全・安心対策」66項目を取りまとめ、これに基づき、監査の強化等の対策に速やかに着手してきたところで

す。さらに、法令改正が必要な事項につきましては、昨年に各関係法令の改正を行っており、本年4月1日からは、小型船のみを使用する許可事業の更新制や船舶使用停止処分制度の導入並びに事業者の安全管理体制、行政処分及び救命設備等の強化策等について施行予定としております。

当支局としましても、これらの制度改正の周知に務めるとともに、新制度に基づいた厳格な運用を徹底するなど事故の再発防止に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、外国船舶に対しては、ポートステートコントロール（日本に寄港する外国船に対する立入検査）を的確に実施し、航行の安全確保と海洋汚染等の防止を図ってまいります。

(7) バリアフリー

誰もが安全・安心・円滑に移動することができる共生社会の実現に向けては、ハード面のバリアフリー化とともに、ソフト面の取り組みが重要です。

当支局としましても、バリアフリー法における基本構想に係る協議会に委員として参画するなど、自治体の基本構想の策定を支援するとともに、真の共生社会の実現に向けて、「心のバリアフリー」を広めるための啓発活動に努めて参ります。

3.おわりに

以上基本的な方針を申し述べましたが、法令改正や社会情勢の変化に併せて柔軟に対応しつつ、安全・安心な国民生活と各業界の発展のため尽力してまいりますので、本年も引き続き、和歌山運輸支局へのご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



和歌山県知事

岸 本 周 平

あけましておめでとうございます。

謹んで公益社団法人和歌山県トラック協会の皆さまに新春のお慶びを申し上げます。

トラック輸送は、国内物流の中心を担い、私たちの暮らしと経済を支える重要な産業であると同時に、大規模災害時においては、救援物資輸送の担い手として、なくてはならない存在でもあります。

貴協会が、物流活性化により県経済の発展に大いに貢献されるとともに、大規模災害に備えた県内全市町村との緊急物資輸送に係る協定締結など災害対策においても多大なる御尽力をいただいていることに敬意を表します。

私は、知事に就任してから一年が経ちました。この間、県内32ヵ所で「タウンミーティング」を開いて、県民の皆さまのご意見を聞き、各地の様々な課題を拾い出し、県政を推進してまいりました。

そのひとつとして、多様性(D:ダイバーシティ)、公平(E:エクイティ)、包摂(I:インクルージョン)のいわゆる「DEI」を大切に、すべての個人の幸福追求の権利を実現するため、「障害者差別解消条例」の制定や「部落差別解消推進条例」の改正、同性パートナーによるパートナーシップ宣誓制度の導入に取り組みました。

また、昨年6月の台風第2号による災害復旧など、国土強靱化、防災・減災の事業も実施しています。

本年は、引き続き、農業、林業、水産業など一次産業の活性化、世界遺産登録20周年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」を中心に、新たに作成したキャッチフレーズ「聖地リゾート！和歌山」とロゴマークを活用した観光産業の振興、子どもの健やかな成長を促進するため、「子ども食堂」を令和7年度までに全小学校区に開設することを目標として設置を推進するなど、子育て世帯の支援や創造的な人材の育成も図ってまいります。

また、世界的に脱炭素の取組が進むなか、和歌山県が脱炭素社会先進県となることを目指し、カーボンニュートラルに資する産業の振興や循環型経済をつくるため、県民の皆さまや県内の企業との協働を進めてまいります。

さらには、第35回全国「みどりの愛護」のつどいの開催や、串本古座高校で公立高校として全国初となる宇宙専門コースが始まる予定です。また、2025年大阪・関西万博での和歌山ゾーン出展に向け準備を進めてまいります。

最後に、新しい一年が、和歌山県トラック協会の皆さまにとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

会員だより

◎変更届

届出年月	変更事項	新	旧
令和5年12月	指定代表者	新栄陸運(株) 龍田光裕	龍田潤三
//	指定代表者	(株)セイシン・コーポレーション 梅本昌吾	丸山克也
//	指定代表者	木下建設(株) 木下貴之	木下三次

◎新規会員の紹介

事業者名	指定代表者名	住所	車両数	加入年月日
南大阪運輸企業組合	伊藤敏行	海南市野上中575-34	44両	令和5年 11月28日

(株)有田自動車学校との適性診断に係る再度協定締結のご案内について

以前、適性診断受診に係る協定を締結しておりました(株)有田自動車学校より、このたび再度適性診断業務の再開の報告を受けて、当協会と致しましても運転者の適性診断受診促進並びに会員サービスをより一層図る事を目的に、(株)有田自動車学校と適性診断に係る協定を令和5年12月20日に再度締結いたしました。

つきましては、(株)有田自動車学校で協会会員事業者の従業員が(一般・初任・適齢診断)受診を行った場合に、自動車事故対策機構での受診同様に受診料を交付金会計より助成致しますので会員皆様方にご利用いただきますようお願いいたします。

※助成対象となる適性診断は初任診断、適齢診断、一般診断となります。

※和歌山県内の営業所の従業員を対象とし、1名につき年度内1回の受診を限度とします。2回目以降は実費となります。

※受診を希望される方は直接(株)有田自動車学校に電話予約を行ってから自動車学校ホームページより受診予約申込書をダウンロードし必要事項をご記入の上FAXを送信してください。

【診断予約・お問い合わせ先】

(株)有田自動車学校

〒643-0033 有田郡有田川町明王寺112

TEL 0120-52-4415 FAX 0737-52-3732

<http://www.aritads.com/> (適性診断のご案内をご覧ください)

令和6年能登半島地震発生に伴う緊急救援物資輸送の実施について

令和6年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震で被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

この度の地震は半島での被害が大きく、被災地では電気・ガス・水・食料・衣服など生活に必要な最低限なものが不足している中、鉄道輸送や船による物資輸送等は道路状況の悪化や津波被害等もあり上手く機能しておらず、被災地までの物資の輸送について、迅速かつ正確に、また隅々まで物資を届けるには我々トラック輸送が欠かせない存在となっており、今回の地震でも我々トラック輸送の重要性が再認識されたところであります。

当協会では、和歌山県との「緊急・救援輸送に関する協定書」に基づき、県福祉保健総務課から県の備蓄物資を1月5日に(有)大原運送の大型車で水を七尾市役所に6日には(株)鳥羽運送の大型車で生活必需品を志賀町役場並びに中能登町行政サービス庁舎に同日(株)オプラスの4トン車で食料品等を津幡町役場他に輸送すると共に、県総合防災課からの依頼に基づき1月7日に4トン車1台、9日に4トン車2台(株)酒本運送の協力により県の消防局の資材等を能登町やなぎだ植物公園等に輸送しました。

交通渋滞等懸念される中、ご協力頂きました会員様・ドライバーの皆様ご協力ありがとうございました。

当協会では、今後も引き続き被災地の支援に取り組んで参りますので、会員皆様方のご協力をお願い申し上げます。



令和5年度安全性優良事業所近畿運輸局長表彰式が行われました

近畿運輸局において、「貨物自動車の輸送の安全」について長期に渡って安全性の徹底等により荷主や社会に対して多大な貢献をもたらしている安全性優良事業所に対し、表彰制度が実施されており、安全性優良事業所（Gマーク）の認定を連続して10年以上かつ、安全性優良事業所支局長表彰を受賞された中から、安全対策等について顕著な功績が認められた事業所に贈られるもので、近畿運輸局長表彰式が11月24日に近畿運輸局において実施され、近畿で34社、当県より4社が「安全性優良事業所近畿運輸局長表彰」を受賞されました。

栄えあるご受賞おめでとう御座いました。

【受賞事業所】（順不同）

- ・紀南運輸(株) 本社営業所 殿
- ・新栄陸運(株) 本社営業所 殿
- ・丸久運輸(株) 本社営業所 殿
- ・(株)ファーストライン 本社営業所 殿



令和5年度安全性優良事業所和歌山運輸支局長表彰式が行われました

令和5年12月26日、近畿運輸局和歌山運輸支局において、「令和5年度安全性優良事業所和歌山運輸支局長表彰式」が行われました。

この表彰は、平成15年に安全性優良事業所制度が創設され、「安全性優良事業所（Gマーク）」の認定を10年以上継続して受けている優良な事業所の中から、特に輸送の安全確保を通じて社会に対して多大な貢献に努め、顕著な功績が認められた事業所に対して表彰する制度であります。

当日、小森和歌山運輸支局長より5事業所に対し、表彰状の授与が行われました。

栄えあるご受賞おめでとう御座いました。

【受賞事業所】（順不同）

- ・河 西 運 輸 (株) 本 社 営 業 所 殿
- ・(株) 湊 組 海 南 営 業 所 殿
- ・(株) 湊 組 和 歌 山 営 業 所 殿
- ・(株) 和 田 物 流 本 社 営 業 所 殿
- ・(株) キ ン グ ・ ラ イ ン 本 社 営 業 所 殿



理事会が開催されました

開催日時	令和5年11月15日(水) 13時30分～14時20分
開催場所	和歌山県トラック会館 3階大会議室
出席者	【会長】 阪本 享三 【副会長】 小浦 正臣、榎本 智信、横山 郁芳、和田 耕司、藪本 恵三 【専務理事】 和佐 純宏 【理事】 井上 巳喜、大浦 聖人、岡崎 良彦、池田 政隆、中嶋 直人、野嶋 利基 福地 達明、大原 貴美、亀井 茂樹、虎谷 勝之、仮谷 依子、楠谷 昌紀 杉本 和隆、福本 雅彦、根矢 一義、秋山 総一郎 【監事】 高橋 淳之、平野 雅彦、西岡 義高 【事務局】 上西 克紀、市坪 幸男、嶋田 能久、勢古 博基、鳴神 美子、宮木 啓之

議題

審議事項

- 第1号議案 新規加入会員の承認について
- 第2号議案 新年理事会の開催方について

協議事項

- 第1号議案 和歌山県のPRに係るラッピングについて

報告事項

- (1)トラックの日実行委員会委員長報告
- (2)2024年問題対策特別委員会委員長報告
- (3)広報委員会委員長報告
- (4)協会員資格喪失報告



議事状況

定刻になり、事務局より開会宣言と出席理事数は定足数を充足し、よって定款第40条の規定により本理事会は適法に成立している旨の報告を行い、阪本会長より開会挨拶の後、定款第39条の規定に基づき、本日の議長に榎本智信理事を指名しました。

【審議事項】

- 第1号議案 新規加入会員の承認について
 - ・1社の加入を承認可決しました。
- 第2号議案 新年理事会の開催方について
 - ・令和6年1月26日に白浜温泉むさしで開催することで承認可決しました。

【協議事項】

- 第1号議案 和歌山県のPRに係るラッピングについて
 - ・仮谷委員長より、和歌山県並びに各市町のPRに係るラッピングについて説明し、実施内容等について協議を行いました。

【報告事項】

- (1)トラックの日実行委員会委員長報告
 - ・榎本委員長より、去る10月15日開催のトラックの日イベント実施に係る協力御礼、並びに委員会の新構成員について報告を行いました。
- (2)2024年問題対策特別委員会委員長報告
 - ・横山担当副会長より令和5年9月20日(水)、令和5年10月12日(木)に開催した委員会報告として2024年問題に関するアンケート調査の実施結果を基に委員会としての取組内容等について検討し、令和5年11月20日(月)に田辺スポーツパーク、令和5年11月22日(水)に和歌山プラザホープにおいて2024年問題関連のセミナーを開催することを決定した旨報告しました。また、令和6年3月に2024年問題シンポジウムを開催することで企画を検討し、関係行政機関、荷主企業の協力を得てパネルディスカッションを予定していることを報告、内容はまだ検討段階であるが、準備期間が少ないことから、シンポジウムの開催並びに内容については、委員会に一任いただくことを提案、議長より議場に諮ったところ一同異議なく承認可決しました。
- (3)広報委員会委員長報告
 - ・仮谷委員長より令和5年10月2日(月)に開催した委員会報告として、今年度実施したスマホ位置情報を活用したWeb広告についての検証結果の報告を行いました。
- (4)協会員資格喪失報告
 - ・事務局より、会員1社が協会費滞納により資格喪失となった旨報告を行いました。

令和6年 2月4日(日) *42.195km*

第26回 紀州口熊野

田辺・西牟婁周辺のみなさまへ

平素は、紀州口熊野マラソンに対してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ禍により延期が続いておりましたが、4年ぶりに第26回目の大会を通常通り開催する運びとなりました。

なお、2月3日(土)に2kmと3km、2月4日(日)にフルとハーフを実施することになっております。コース周辺の方々には2日間にわたり交通規制等で大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、ご自宅近くをランナーが走行される場合、暖かいご声援を賜ることができれば幸いです。

令和5年12月

紀州口熊野マラソン実行委員会
 実行委員長 上羽 寛
 大会長 上富田町長 奥田 誠



※当日は交通整理員誘導に従って下さい

(種
 ハーフ
 フルマ)

— ハーフコース
 — フルコース

マラソンコース図



種目	(スタート時間)	(予想参加人数)
フルマラソン	9:20~	2,300名
ハーフマラソン	9:30~	2,300名

令和5年度トラック運送事業者のための人材確保・労働環境改善セミナーが開催されました

トラック運送業界では、人材確保対策や人材定着に向けた職場環境の整備が喫緊の課題であることから、令和5年11月17日(金)、ホテルグランヴィア和歌山に於いて、(公社)全日本トラック協会との共催により標題セミナーを開催致しました。

当日は43名が参加され、(公社)和歌山県トラック協会 阪本会長より挨拶の後、(株)コヤマ経営代表取締役 小山 雅敬氏より、①改正改善基準告示について、②運転者人材等の採用、③人材が定着するための職場環境の整備、④働き方改革に対応した実務の4つをテーマに講演頂き、参加された皆さまは、熱心に聴講されておりました。



改善基準告示解説セミナーが開催されました

2024年4月から改正改善基準告示が適用されることに伴い、令和5年11月28日(火)和歌山市の「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」、11月29日(水)田辺市の「和歌山県立情報交流センター Big・U」に於きまして標題のセミナーを開催いたしました。

当日は和ト協阪本会長の開会挨拶の後、株式会社運輸・物流研究室 取締役フェロー小野秀昭様より、改善基準告示改正の趣旨、改正内容や事業者が取り組むべき内容等について解説されました。

両会場あわせて71名の皆様が参加し、熱心に聴講されておりました。



広報委員会が開催されました

開催日時 2023年11月21日（火）15時00分～16時25分

開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室

出席者 8名

仮谷 依子、井上 巳喜、虎谷 勝之、杉本 和隆、渡邊 孝富
綾江 憲二、弓庭 幸洋、竹内 正巳、和佐 純宏
オブザーバー（株）アクセスプログレス 大下 哲矢
事務局 上西 克紀、市坪 幸男、高田 敦久

議題 (1) インターネット広告について
(2) ラッピングトラック
(3) その他について

去る11月21日和歌山県トラック会館2階会議室において広報委員会が開催され、冒頭に委員長より挨拶があり、上記の議題について検討を行った。

インターネット広告についての集計結果を基に今後継続するかどうかの決定を行う上でアクセスプログレスの大下氏を招聘し、より詳細な説明を求め、結果を基に検討を重ねた結果引き続き広告を出すこととなった。また動画広告についても試験的に行うこととなりテーマや予算について決定し、内容については次年度開催することとし今後検討を重ねることとなった。

ラッピングトラックについて理事会で承認を得たことについて報告を行い、ラッピング施工業者の候補や市町村への依頼する際の内容、ラッピングを貼る際のトラックについての要件等について詳細に内容を詰めた。



建設委員会が開催されました

開催日時 令和5年12月15日（金）13時30分～14時30分

開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室

議題 (1) 和歌山県トラック会館移転候補地について

出席者 【委員長】横山 郁芳

【副委員長】鳥羽 弘基

【委員】阪本 享三、小浦 正臣、榎本 智信
和田 耕司、藪本 恵三、中嶋 直人
大原 貴美、楠谷 昌紀

【オブザーバー】和佐 純宏

【事務局】上西 克紀、市坪 幸男、勢古 博基

議事概要

(1) 和歌山県トラック会館移転候補地について

- ・資料に基づき2件の物件について検討し、1つの物件について、総建設費が予算内であれば、この物件の交渉を進めることで次回理事会に審議事項として上程することで決定しました。



2024年問題対策特別委員会が開催されました

- 開催日時** 令和5年11月22日（水）15時50分～16時50分
開催場所 和歌山県勤労福祉会館
議題 (1)「物流の2024年問題」シンポジウムの開催について
(2) その他について
出席者 【委員長】 鳥羽 弘基
【副委員長】 金谷 直俊、池田 政隆、楠谷 昌紀
【委員】 古澤 幸夫、綾江 憲二
【担当副会長】 横山 郁芳
【オブザーバー】 和佐 純宏
和歌山県総合交通政策課 磯貝班長
和歌山労働局 塩尻監督課長、小島監督官
和歌山運輸支局 鈴木首席、加茂専門官
【事務局】 勢古博基、宮木啓之



議事概要

- (1) 「物流の2024年問題」シンポジウムの開催について
・ 横山副会長よりシンポジウム開催に係る趣旨目的を説明、続いて事務局より資料に基づき全体の企画案について説明を行った後、シンポジウムの開会・閉会挨拶、来賓挨拶、並びにパネルディスカッションのパネラーについて検討しました。
- (2) その他について
・ 次回は12月中に開催することで決定した。

- 開催日時** 令和5年12月15日（金）11時00分～11時55分
開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室
議題 (1)「物流の2024年問題」シンポジウムの開催について
(2) その他について
出席者 【委員長】 鳥羽弘基
【副委員長】 池田政隆、楠谷昌紀
【委員】 綾江憲二、竹内正巳
【担当副会長】 横山郁芳
【オブザーバー】 和佐純宏
【事務局】 勢古博基、宮木啓之



議事概要

- (1) 「物流の2024年問題」シンポジウムの開催について
・ 事務局より資料に基づき説明し、パネルディスカッションのパネリストの人選、また開催案内のチラシ等について検討しました。
- (2) その他について
・ 次回は令和6年1月17日（水）11時から開催することで決定しました。

2024年問題対策セミナー並びに運送事業者セミナーが開催されました

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告示が適用されることに伴い、2024年問題への対策が喫緊の課題となっていることから、標題のセミナーを開催いたしました。

2024年問題対策セミナーにつきましては、令和5年11月20日(月)田辺市の「田辺スポーツパーク」において開催し、(株)ブリックス代表取締役宇野栄一氏より、「運送会社の働き方対策 2024年問題対応」未払い残業代請求対応と時間管理をテーマに講演いただきました。

また、運送事業者セミナーにつきましては、東京日動火災保険(株)との共催により令和5年11月22日(水)和歌山市の「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において開催し、(株)瀧澤・佐藤事務所代表取締役瀧澤学氏より、「2024年労働時間上限規制・改正改善基準告示」で変化する運送事業の方向性をテーマに講演いただきました。

両会場合わせて、112名の皆様が参加し、熱心に聴講されておりました。

「2024年問題対策セミナー」



「運送事業者セミナー」



厚生労働省より

「令和6年就労条件総合調査」にご協力ください

就労条件総合調査は、企業の就労条件に関する現状を把握することを目的として、常用労働者が30人以上の民営企業から無作為に抽出した約6,400企業を対象に、民間企業における労働時間制度、賃金制度等について総合的に調査しています。調査の結果は、労働施策の立案と評価の基礎資料となっており、労働政策審議会などの検討資料として活用されているほか、企業における労使の各種判断資料としても利用されています。

今回は、令和6年1月1日現在(年間については、令和5年1年間[または令和4会計年度])の状況について調査を行います。なお、本調査は、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」に基づく民間競争入札により、民間業者に委託して調査を実施しており、今回は株式会社サーベイリサーチセンターに委託して調査を行います。統計法等により受託業者にも守秘義務が課せられており、情報の保護には万全を期しておりますので、対象となりました企業におかれましては、調査の趣旨や重要性をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

また、本調査は、オンライン回答をすることも可能です。オンライン回答を利用すると、紙調査票の送付作業がなくなるほか、システムのチェック機能により誤記入が防げるなどのメリットがありますので、ぜひご利用ください。

初任運転者講習の開催について

標記講習は国土交通省の告示により、貨物自動車運送事業者は、運転者として新たに雇い入れた者に対し、自動車の運転に関して遵守すべき事項について指導教育（座学 15 時間・運転 20 時間）を実施することとなっております。（ただし、当該貨物自動車運送事業者において、初めてトラックに乗務する前 3 年間に、他の一般貨物自動車運送事業者等によって運転者として常時選任されたことがある者を除く。）

本講習は、本来であれば事業者において実施すべき教育ではありますが、各事業者に代わり、当協会の提携自動車学校において「初任運転者指導講習」を開催しております。

※座学 15 時間の内、12 時間を特定の運転者に対する特別な指導の指針に沿って提携の自動車学校に教育を行ってまいります。残りの 3 時間については各社の輸送形態に応じた教育を行っていただく必要があります。

記

1. 開催日時

【和歌山会場】

開催回数

第 7 回 初 日 令和 6 年 3 月 13 日 (水)
2 日目 令和 6 年 3 月 14 日 (木)

【田辺会場】

開催回数

第 2 回 初 日 令和 6 年 3 月 6 日 (水)
2 日目 令和 6 年 3 月 7 日 (木)

○各日受付は 8:40 ～となります。

2. 開催場所

(1) 和歌山会場

マジオドライバースクール和歌山校
和歌山市市小路 425 電話 073-455-0464

(2) 田辺会場

和歌山県立情報交流センター Big・U「情報実習室 2」
田辺市新庄町 3353-9 電話 0739-26-4111

※室内での飲食はご遠慮ください。

3. 講習内容

初任運転者座学講習（合計）12 時間

4. 受講対象

会員事業所の県内営業所所属の初任運転者

5. 申し込み

「初任運転者指導講習受講申込書」により、各回の申込期間にマジオドライバースクール和歌山校宛 FAX で申込みください（期限厳守）

6. 定 員

1 講習 30 名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

受講人数が少数の場合は日程の変更をお願いする場合があります。

7. 受講料

無料（県ト協で負担いたします）

8. その他

ご不明な点は下記へご連絡ください。

マジオドライバースクール和歌山校

TEL 073-455-0464

※初任運転者指導講習受講申込書につきましては和歌山県トラック協会ホームページよりダウンロードできます。

和歌山県トラック協会ホームページ

会員の皆様へ → トピックス → 2023.3.10 2023 年度初任運転者講習について

2023年度各種助成金 申請状況

2023年12月22日現在

2023年度 助成金	予算額(千円)			申請額 (千円)	実行率 (%)	申請締切日
	全ト協	和ト協	合計			
ドライバー等安全教育訓練促進助成金	1,240		1,240	1,078	87	2024年3月31日
睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査助成金	1,060	1,310	2,370	1,040	43.9	2023年12月28日(実績報告は2024年2月29日)
環境対応車導入助成金	※1	1,000	1,000	291	29.1	2024年1月31日(車両登録は2024年3月8日)
安全装置等助成金	3,180	1,600	4,780	1,316	27.6	2024年2月29日
ドラレコ機器等導入促進助成金		2,000	2,000	430	21.5	
蓄熱マット等購入助成金		500	500	33	6.6	2024年1月31日
アイドリングストップ支援機器導入助成金	480		480	120	25	2024年2月29日
血圧計導入促進助成金	※2			180		
グリーン経営認証助成金		200	200	60	30	
上位運転免許(大型・中型・けん引・準中型)取得助成金	※3	5,000	5,000	1,990	39.8	
定期健康診断助成金		9,000	9,000	4,448	49.5	
信用保証料助成金	※4	1,000	1,000	106	10.6	
自動点呼機器等導入助成金	※5					
働きやすい職場認証制度認証取得費助成金	※6			320		
Gマークステッカー購入助成金		500	500			

※1 全国で200,000千円 ※2 全国で30,000千円 ※3 全ト協 準中型免許・特例講習助成 全国で98,700千円
 ※4 全国で40,000千円 ※5 全国で50,000千円 ※6 全国で70,000千円

2023年12月22日現在の各種助成金の申請状況です。

○助成金申請書・要綱等は和ト協ホームページよりダウンロードできますのでご利用いただくか和歌山県トラック協会・交付金課宛ご連絡下さい。

○蓄熱マット助成金申請については、指定取扱機関の和歌山県貨物運送事業協同組合連合会(TEL073-422-2922)に申請して下さい。

○但し、予算に達した時点で終了となりますのでご了承下さい。

○Gマークステッカー助成金については1月4日から申請受付。今年度取得、更新事業所に限ります。

和歌山第1・第2ブロック親睦ゴルフコンペが開催されました

秋晴れの元、11月11日(土)第10回和歌山第1・第2ブロック合同の親睦ゴルフが紀の国カントリー倶楽部にて開催されました。30名の参加者により和気あいあいとプレーを楽しみました。

当日は中嶋直人・和歌山第2ブロック長の挨拶で開会し、終了後表彰式を行いました。

優勝は池田政隆氏、6位までの入賞された方々は下記の通りです。

尚、多数の企業様等にご賛同頂きました事、厚く御礼申し上げます。

成績ベスト6

令和5年11月11日(土)

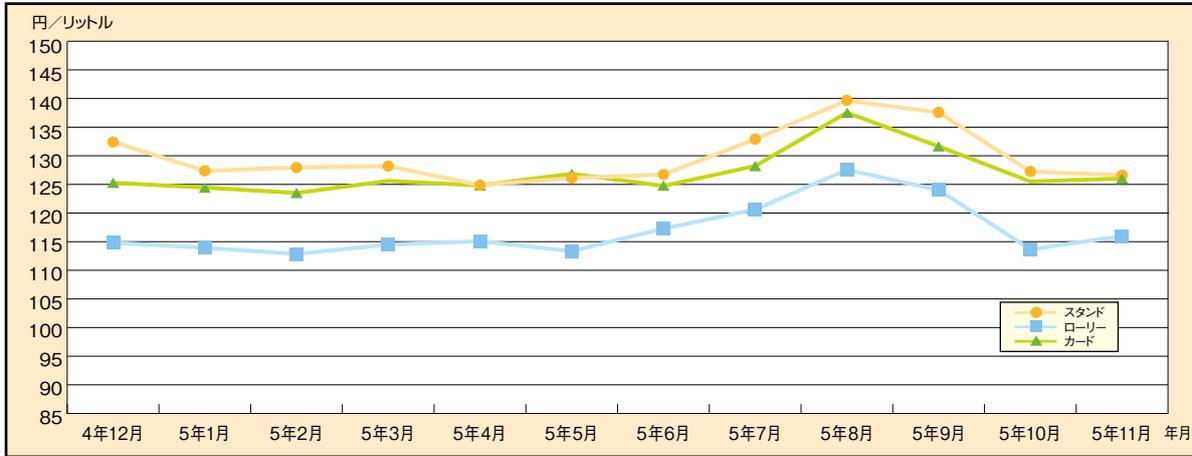
順位	氏名	アウト	イン	トータル	HDCP	ネット
優勝	池田 政隆	40	43	83	12.0	71.0
準優勝	和田 耕司	48	50	98	25.2	72.8
3	田浦 稔和	46	45	91	18.0	73.0
4	岩橋 健次	43	47	90	16.8	73.2
5	辻本 郁也	47	51	98	24.0	74.0
6	岩崎 昭	46	45	91	16.8	74.2



軽油価格調査集計表

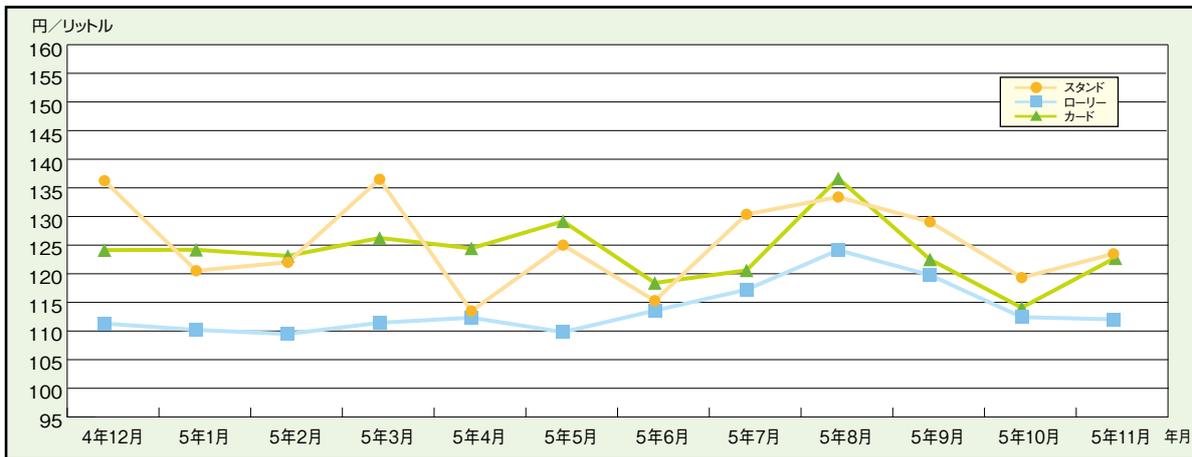
令和5年12月22日現在
(公社) 全日本トラック協会

軽油価格推移グラフ (近畿)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2022年 12月	128.32	5.85	110.71	0.74	121.19	0.76
2023年 1月	123.27	-5.05	109.84	-0.87	120.35	-0.84
2023年 2月	123.85	0.58	108.76	-1.08	119.41	-0.94
2023年 3月	124.09	0.24	110.41	1.65	121.51	2.10
2023年 4月	120.78	-3.31	110.97	0.56	120.72	-0.79
2023年 5月	122.00	1.22	109.25	-1.72	122.76	2.04
2023年 6月	122.63	0.63	113.17	3.92	120.64	-2.12
2023年 7月	128.81	6.18	116.53	3.36	124.12	3.48
2023年 8月	135.57	6.76	123.44	6.91	133.43	9.31
2023年 9月	133.48	-2.09	119.93	-3.51	127.55	-5.88
2023年 10月	123.15	-10.33	109.56	-10.37	121.41	-6.14
2023年 11月	122.51	-0.64	111.85	2.29	121.93	0.52

軽油価格推移グラフ (和歌山)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2022年 12月	136.25	19.25	111.31	0.63	124.13	0.75
2023年 1月	120.53	-15.72	110.20	-1.11	124.19	0.06
2023年 2月	122.00	1.47	109.49	-0.71	123.11	-1.08
2023年 3月	136.50	14.50	111.44	1.95	126.25	3.14
2023年 4月	113.50	-23.00	112.33	0.89	124.44	-1.81
2023年 5月	125.00	11.50	109.81	-2.52	129.16	4.72
2023年 6月	115.30	-9.70	113.57	3.76	118.40	-10.76
2023年 7月	130.38	15.08	117.23	3.66	120.60	2.20
2023年 8月	133.40	3.02	124.12	6.89	136.66	16.06
2023年 9月	129.06	-4.34	119.78	-4.34	122.50	-14.16
2023年 10月	119.33	-9.73	112.43	-7.35	114.09	-8.41
2023年 11月	123.48	4.15	112.04	-0.39	122.61	8.52

協会日誌

開催日	行 事	開催地	
2023年 12月	4日	和歌山県高速道路交通安全協議会・街頭啓発	和歌山市
	5日	適正化指導員連絡会議	//
	6日	令和5年度広域防災拠点(物資)運営訓練現地調査	新宮市
	7日	全ト協・理事会	東京都
	11日	紀北ブロック・理事会	かつらぎ町
	13日	整備管理者選任後研修	和歌山市
	//	交通マネジメント検討会(Web会議)	//
	14日	和歌山第2ブロック西地区・カーブミラー清掃活動	//
	15日	2024年問題対策特別委員会	//
	//	建設委員会	//
	//	正副会長会議	//
	19日	近畿地区物流政策懇談会	大阪市
	21日	重点支援地方交付金陳情	和歌山市
	26日	令和5年度安全性優良事業所和歌山運輸支局長表彰式	//
開催日	行 事 予 定	開催地	
2024年 1月	10日	適正化指導員連絡会議	和歌山市
	11日	全国専務理事業務連絡会議	岐阜市
	16日	整備管理者選任後研修	和歌山市
	17日	2024年問題対策特別委員会	//
	//	正副会長・予算委員会・交付金運営委員会合同会議	//
	21日	ニューレジリエンスフォーラム和歌山県大会呼びかけ人会	和歌山市
	23日	全ト協・新年賀詞交歓会	東京都
	24日	整備管理者選任後研修	和歌山市
	//	運輸業界向け脱炭素セミナー	//
	26日	理事会	白浜町
	27日	紀南ブロック・親睦ゴルフコンペ	//
30日	近ト協・幹事会	大阪市	
開催日	行 事 予 定	開催地	
2024年 2月	1日	整備管理者選任後研修	新宮市
	//	運行管理者試験受験対策講習会(重点ポイント編)	和歌山市
	//	全ト協・労働安全・災害防止委員会	東京都
	6日	全ト協・交通対策委員会	//
	13日	近ト協理事会・近ト協創立10周年記念事業	大阪市
	14日	正副会長・予算委員会・交付金運営委員会合同会議	和歌山市
	16日	適正化評議委員会	//
	17日	運行管理者試験受験対策講習会(テスト実践編)	//
	19日	広報委員会	//
	27日	全ト協・環境対策・GX推進委員会	東京都
	28日	トラック輸送における取引環境・労働時間改善和歌山協議会	和歌山市

◆ 令和5年 第2期 優秀安全運転事業所表彰（令和5年10月31日付け）
受賞3事業所

①11月1日 警察本部交通部長室
銀 賞

株式会社アサヒセキュリティ和歌山営業所
統括運行管理者 大古 拓史 様



②11月1日 和歌山西警察署長室
銅 賞

辻岡運輸株式会社
代表取締役 中嶋 直人 様



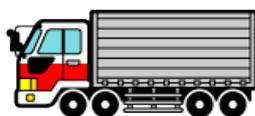
③11月8日 有田湯浅警察署長室
銅 賞

佐々木運送株式会社
取締役 佐々木 邦明 様



ご紹介ください！

自動車保険を見直したいが、どこで契約したらいいのか
お困りの運送事業者さんをご存知ないですか？
もし、お知り合いの運送事業者さんがいらっしゃいましたら
ぜひ、ご紹介ください。担当者が迅速・丁寧に対応いたします
なお、ご紹介いただいて契約が成立いたしましたら
1万円相当のお好きな品物を
ご紹介者さまに進呈させていただきます。



**安全性優良事業所認定割引(Gマーク割引)を新設いたしました！
対人共済契約車両に対して基本掛金の1%を割引いたします。
* 割引は契約更新時から適用となります。**

自動車共済・自賠償共済はぜひ近畿共済でご契約を

近畿共済は、組合員のみなさまと一体となって事故防止に努力しています
お問い合わせ・ご連絡は 当組合和歌山事務所 073-403-6486

新年のごあいさつ



近畿交通共済協同組合
理事長 坂田 喜信

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には健やかに新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本組合の運営につきまして格段のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に移行し、感染症対策が企業や個人の判断に任せられるようになりました。しかし未だマスクを着用する人も多く、コロナとの共生を警戒する声も残っております。

スポーツの世界では、3月に大谷翔平を擁する侍ジャパンがWBCで3大会ぶりに優勝し日本国民が歓喜しました。また11月には関西対決となった日本シリーズでタイガースがオリックスを下し、38年ぶりの阪神日本一に関西は熱狂に包まれました。

世界を見渡しますと、前年から続いているロシアのウクライナ侵攻が泥沼化し、世界経済に物価高騰などの悪影響を与え続けているなか、10月にイスラエルとパレスチナの武力紛争が勃発し、世界にさらに暗い影を落とすこととなりました。

我々トラック運送業界では、コロナ禍後の運送需要の回復により、運転手不足がさらに深刻化するなかで、2024年問題対策のための、勤怠管理の見直しやDXの推進等、業務の改善・改革をより一層進める必要があります。そのなかで、自動運転技術は道路交通法の改正により、4月からレベル4の実装が可能となり、福井県で無人による移動サービスが始まりました。また、高速道路での大型トラックによる実証実験も始まり、自動運転も現実のものとなりつつあります。

近畿共済の現況といたしましては、コロナ禍が落ち着き、経済活動が通常に戻るなか、交通事故件数の増加とともに、高額賠償事故についても増加しております。特に重度の後遺障害が見込まれる人身事故や、公共物に対する対物高額賠償事故が複数発生し、物価上昇や自動車のハイテク化による修理費の高額化と共に近畿共済の収支を圧迫しております。この結果、今年度の中間決算につきましては、平成27年3月期以来の赤字となりました。執行部ではこれを重く受け止め、これまでも増して事故防止活動の取り組みに重きを置くとともに、積極的な営業活動の推進および適正妥当な共済金支払いを実施することで、事業収支の健全化に努めてまいります。

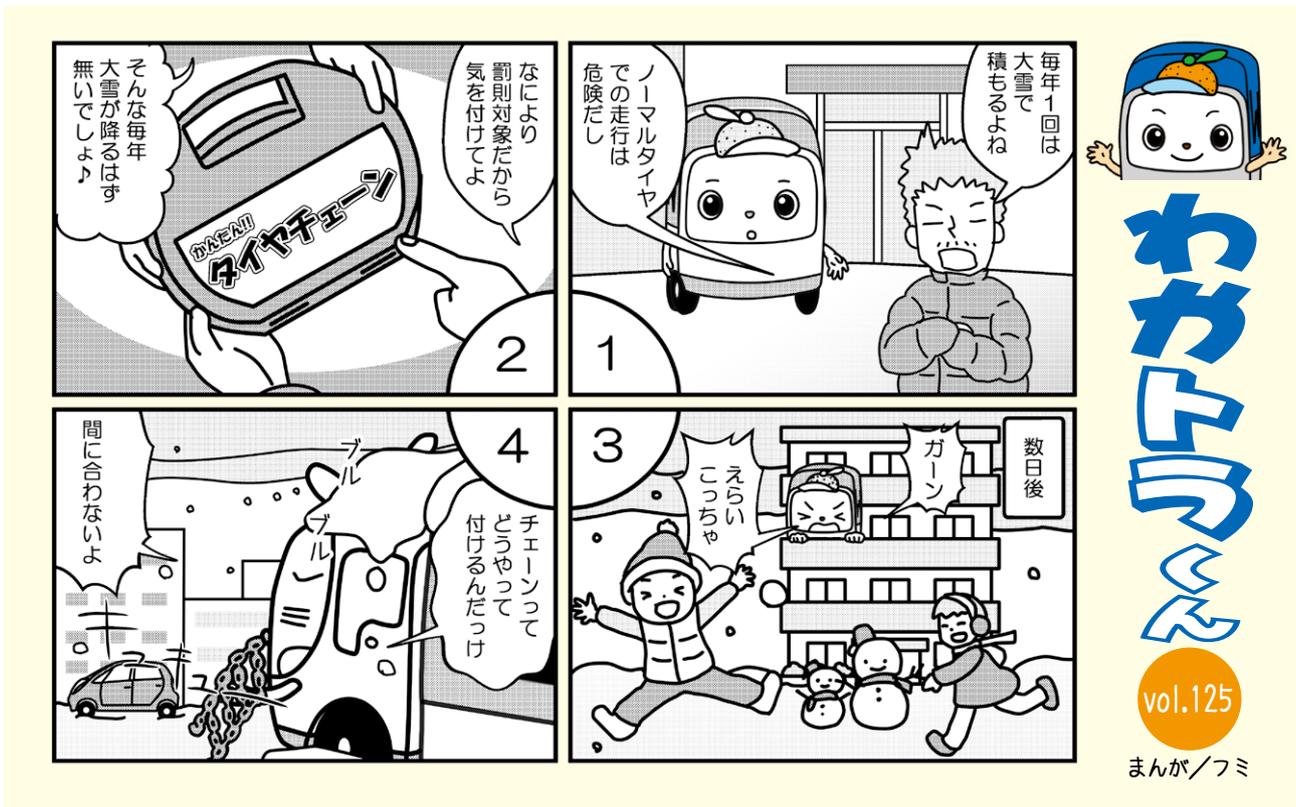
関西は全国的にも事故が多い地域と言われております。その中で被害が大きくなりがちな事業用トラックの事故を如何に減らしていくかが重要になると思料いたします。近年の法改正で新車トラックに側方(左方)衝突警報装置や歩行者対応の衝突被害軽減ブレーキ等の装備が標準装備されつつある中、そのような装備のないトラックの運転手に対する地道な事故防止の啓発が重要で、その為には当組合の事故防止活動の取り組みに対する組合員の皆様のご協力が必要不可欠になります。また昨年4月からホームページで実施しているeラーニングを最大限活用し、事故防止に努めていただきたいと思います。

営業活動の推進につきましては、現在、掛金収入が減少傾向にある中、昨年末に実施した全組合員向けのアンケートの調査結果を活用し、組合員の皆様は何を求めておられるかを見極め、新商品や新制度の導入に生かすとともに、新規組合員の獲得や組合員の皆様の満足度アップにつなげてまいります。

補償業務につきましては、近年力を入れている外部講師を招いての組合内研修により補償担当者のレベルアップを図り、社会的責任である被害者救済をしつつ、組合員の皆様のため迅速かつ適正な解決に努めてまいります。

損保との契約獲得競争が激化している中、近畿共済は、創立からの相互扶助の理念およびその精神に基づき、組合員本位の業務運営に積極的に取り組んでまいります。そのため、執行部・事務局役職員が一丸となって業務に邁進し、組合員の皆様に満足して頂けるサービスの提供を目指していく所存でございます。

年頭に当たり、組合員各位のご繁栄とご発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



トラック協会会員向け運行管理者等一般講習の動画視聴方式(DVD)による開催について

当協会では、今年度標記講習を開催してまいりましたが、残りあと1回の開催となりました。受講が必要な運行管理者の皆様はぜひ受講漏れの無いようご留意願います。

申込方法につきましては、FAX での申込となりますので申込書を和ト協ホームページよりダウンロードしていただきますようお願いいたします。但し、定員に達した場合は申し込みを打ち切りますのでご了承ください。

開催日	時間	開催場所	定員
令和6年2月10日(土)	受付 12:00 ~ 13:00 ~ 19:00	フォルテワジマ 4階 中ホール	80名程度

※フォルテワジマ駐車場につきましては長時間になりますと高額となる場合がありますので、周辺コインパーキングをご利用いただくことをおすすめいたします。

※原則遅刻は認められません。また、終了時間につきましては若干前後する場合があります。

その他、詳細につきましては和ト協ホームページをご確認ください。

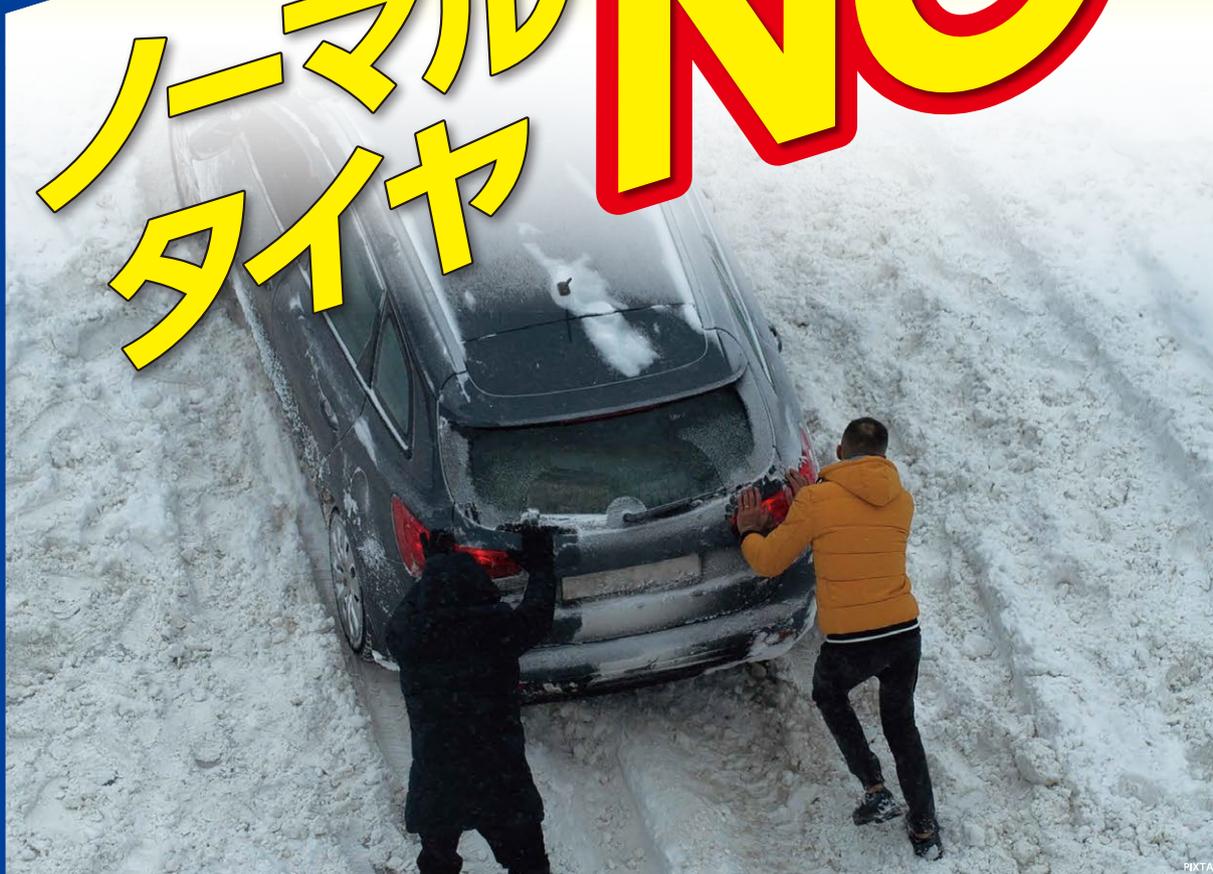
【和ト協ホームページ <https://www.watokyo.org/>】

会員の皆様へ→トピックス→令和5年5月10日 トラック協会会員向け運行管理者等基礎講習及び一般講習の動画視聴方式(DVD)による独自開催について

積雪路・凍結路を走るなら

ノーマル
タイヤ

NO



冬場になると、道路の積雪や凍結により、ノーマルタイヤを装着した車両が立ち往生して、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしています。

詳しい情報はコチラ



積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は

法令違反

反則金
普通車 6千円

となります。

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く) 違反行為は、反則金の適用となります。(大型車：7千円、普通車：6千円、二輪車：6千円、原付車：5千円)

※ タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する規制時は、冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

突然の積雪や路面凍結時には事故・トラブルが発生しています

冬の安全ドライブには
事前の備えが重要です

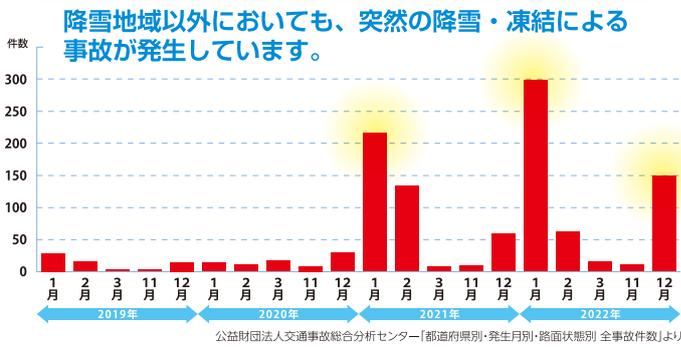
非降雪地域
でも
冬用タイヤの装着
をお奨めします



降雪地域
では
早めの
冬用タイヤ装着
が大切です

積雪・凍結路面時の事故発生件数

<東京、愛知、大阪、広島、福岡 合計>



JAFロードサービス救援要請件数

<中部エリア降雪時>

降雪時、JAFのロードサービスの
救援要請は、急増しています。

	中部エリア計	前週比
降雪前週3日間	4,971	
降雪3日間	7,312	147%

データ提供元：JAF中部本部
降雪前週 3日間：2021年12月20日～22日
降雪 3日間：2021年12月27日～29日

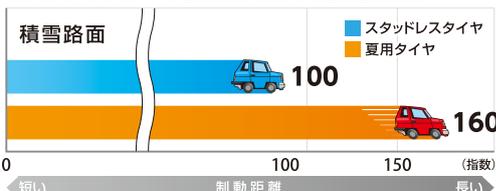
積雪、凍結路で冬用タイヤを装着していないと…



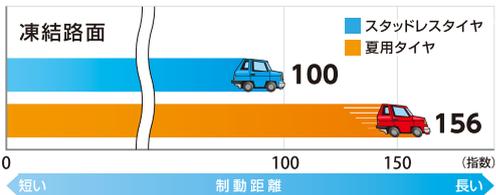
制動距離が違う

夏用タイヤのままでは、制動距離が長くなります。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの制動距離指数



【試験条件】
●タイヤサイズ：195/65R15
●空気圧：220kPa
●車種：乗用車（後輪駆動、2000cc）
●初速度：40km/h
●実施場所：タイヤメーカーテストコース
●ABS有り



【試験条件】
●タイヤサイズ：195/65R15
●空気圧：220kPa
●車種：乗用車（後輪駆動、2000cc）
●初速度：25km/h
●実施場所：タイヤメーカーテストコース
●ABS有り

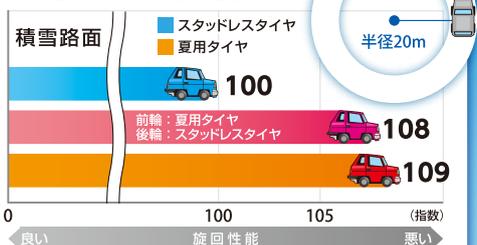
スタッドレスタイヤでの制動距離を100として指数表示し、指数が大きい方が制動距離が長いことを示す。



旋回性能が違う

駆動輪のみ冬用タイヤを装着しても
夏用タイヤ（全車輪）並みの性能で、
挙動が安定しません。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの旋回性能指数



スタッドレスタイヤでのラップタイムを100として指数表示し、指数が大きい方がラップタイムが遅くなり、旋回性能が劣ることを示す。

【試験条件】
●タイヤサイズ：195/65R15
●空気圧：220kPa
●車種：乗用車（後輪駆動、2000cc）
●実施場所：タイヤメーカーテストコース
●路面の種類：積雪路面
●ABS有り
●実走行による定常円旋回のラップタイムを計測。

冬用タイヤを**全車輪**に装着してください!

一般社団法人日本自動車タイヤ協会



和歌山県トラック協会テーマ曲
「さあいこう」

作詞/作曲/編曲 和歌山県トラック協会

(1番)

ハンドル握り アクセル踏んで 荷台に いっぱい 夢を乗せて
晴れた時でも 嵐の日でも待ってる人が そこにいるから

朝日かがやく 海岸走り
星のきらめく あの丘越えて

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック協会

(2番)

今日も笑顔で 安全運転 優しい気持ちを いつも胸に
細い道でも 広い道でも マナーを守る 気配り上手

潮の香りの 岬をまわり
みかんの花咲く あの山のぼる

さあいこう さあいこう
幸せ 届けるため
さあいこう さあいこう
みんなと

和歌山県 トラック協会

(サビ繰り返し)

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック トラック トラック協会



「さあいこう」がカラオケ配信されています。(JOYSOUND、UGA、DAM)



発行：公益社団法人 和歌山県トラック協会
編集：公益社団法人 和歌山県トラック協会広報委員会
〒640-8404 和歌山市湊1414 TEL.073-422-6771
<https://www.watokyo.org>